

競技注意事項

- 1、本大会は、2011-2012 IPC-Athletics 競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う
- 2、「本大会は IPC 公認大会であるので「ZERO FALSESTART」ルールを適用してトラック種目を行う。そのため、不正出発は 1 回目で失格となることを充分理解しておくこと。」
- 3、招集について
 - (1) 招集場所は、正面スタンドに向かって右スタンド下付近（第 3 ゲートと第 4 ゲートの間）とする。
 - (2) 招集は、次のとおりとする。

競技種目	招集開始	招集完了
トラック競技	30 分前	20 分前
フィールド競技	40 分前	30 分前

- ・招集は、招集所に掲示してある出場者名簿に招集開始時刻前までにチェックをすること。（自分の番号を○で囲む。代理人でも可）
 - ・招集完了時刻には、選手は招集所に待機し、競技者係のコールでナンバーカードを見せ確認を受ける。最終コールに遅れた者は棄権とみなす。
 - ・代理人による招集は認めない。ただし、同時刻に 2 種目以上の競技に出場する者は、あらかじめ競技者係に申し出ること。この場合、早く開始されている競技の招集は決められた時間に行うこと。
- 4、練習について
 - ・補助競技場または屋内走路（バックスタンド下）を使用すること。
 - ・競技に支障がない場合は、審判員の指示に従ってバックストレートでの練習を認める。
 - ・投てき練習は、投てき競技場において審判員の指示により行うこと。
また、投てき競技場では、砲丸投、円盤投、やり投、こん棒投の競技を行うので練習できないこともある。
 - 5、予選は行わずタイムレース決勝とする。
 - 6、フィールド競技における試技は、各種目とも 6 回とする。（走高跳競技を除く）
ただし、最初の 3 回の試技がすべて無効試技であった場合は残り 3 回の試技はできないものとする。最初の 3 回がすべて無効試技であったものは、予選落ち扱いとする。
また、投てき競技における計測は、競技運営上、各試技ごとに計測しないことがある。
 - 7、競技の終了した選手は、必ず記録証発行場所で記録証を受け取ること。
また、本大会における自己記録を更新した選手は記念品を受け取ること。
 - 8、スパイクのピンは、全天候型で 9 mm 以下のものを使用すること。
(ただし、走高跳競技、やり投競技においては 12 mm 以下のものとする。)
 - 9、ナンバーカードについて
 - ・ナンバーカードは配布されたものを使用し、立位の者はユニフォームの背部と胸部に付けること。（折り曲げないこと）なお、走高跳に出場する選手は、背部または胸部どちらかでよい。
 - ・車椅子使用者は、車椅子の背部と胸部または脚部（両大腿切断者は車椅子の前面）に審判員に確実に見えるようにすること。（折り曲げないこと）
 - 10、車椅子の競走競技（800m 以上）では、ヘルメットを使用すること。

- 11、T11（B1クラス）の選手は、フィールド競技と1500m以下のトラック競技では、アイマスクもしくはそれに該当するものを装着すること。
- 12、本大会はドーピング検査を行う。
- 13、荷物等は、各自で管理して盗難に十分注意すること。
- 14、タバコは、指定された場所（灰皿の設置場所）で喫煙すること。
（競技場内での喫煙を見つけた場合は、退場させる。）
- 15、ゴミは各自で処分すること。

適切な水分補給をして、熱中症の積極的な予防を心がけましょう。

- ・いつもよりたくさんの水分を補給しましょう。
- ・汗をかいた時などは水分とイオンを同時に補給しましょう。